

○ 第4回福岡・ラオス友好協会総会・交流会 盛会裏に終了

4月24日(水)、ホテルニューオータニ博多にて第4回目の総会が多数の出席者のもとで行われました。

会議では、平成24年度の事業報告と決算報告、平成25年度の事業計画と予算が審議され、原案どおり承認、可決されました。

総会に続いて行われた交流会には、来賓として駐日ラオス人民民主共和国大使館・ケントン特命全権大使、在福岡ラオス名誉領事館・中島名誉領事、九州経済産業局、福岡県、福岡市から、そして九大、熊大、九工大から13名のラオス留学生も駆けつけてくれました。また、今回は、長崎友好協会からは、本田会長、前田事務局長も参加されました。



交流会では、津田会長の開会挨拶の後、ケントン大使の挨拶と渡辺県議の乾杯の音頭で始まり、途中、九州大学農学部大学院生バンニャークラナコン君のラオスのお祝いの踊りも披露され、和やかにとり行われました。また、中島ラオス名誉領事から今後のラオスでの医療活動についての計画と3月のラオス訪問の結果について報告がなされ、最後は友好協会役員による博多手一本で閉会となりました。

交流会では、津田会長の開会挨拶の後、ケントン大使の挨拶と渡辺県議の乾杯の音頭で始まり、途中、九州大学農学部大学院生バンニャークラナコン君のラオスのお祝いの踊りも披露され、和やかにとり行われました。また、中島ラオス名誉領事から今後のラオスでの医療活動についての計画と3月のラオス訪問の結果について報告がなされ、最後は友好協会役員による博多手一本で閉会となりました。



敬訪問

総会・交流会に先立ち、福岡市役所に貞刈副市長を訪問しました。

福岡市とラオスとの関係は、2005年9月福岡市アジア文化賞をラオス織物研究者ドアンドウアン・ブンニャウオンさんの受賞から始まりました。



通訳として来福された国費留学生第一期生のチャンタソン・インタボン女史が行っているラオスの子どもたちに書籍をおくる活動に共鳴した元山崎福岡市長夫人を始めとした女性の「那の香ライオンズクラブ」メンバーがNPO「ラオスのこども」に草の根的募金活動を始めたことから始まったことは、ラオスニュースで紹介したとおりです。

○ ラオス首相府上級顧問鈴木先生 福岡へ

5月27日(月)、ラオス首相府上級顧問鈴木基義博士の歓迎&懇談会を在福岡ラオス名誉領事館と福岡ラオス友好協会の共催で開催しました。鈴木上級顧問は早朝からバンコク経由で北九州市を訪問し、環境問題や水事業、風力などの新エネルギーについて、これからのラオスに必要なインフラの整備に取り組んで行かれる為、北九州市環境局局長との面談や北九州エコタウンを見学しました。夕方からは福岡にて、福岡の協会関係者と最新の日本企業の経済特区進出状況などについて情報交換し、日々、変化して行くラオスの状況を理解頂けた方も多かったのではと思います。



○ ラオス、カンボジア、ミャンマーを特集した雑誌を送ります

第1回目の訪問時お会いした、ラオス・トンシン首相、駐ラオス横田大使、福岡で3回ラオス投資セミナーの講師をしていただいたラオス特別顧問鈴木先生、そしてラオスで夫婦で現在活躍されている赤坂総合事務所の飯田さん(友好協会会員)と懐かしいお顔が見られます



ビエンチャン・タートルワン



ルアンパバーン・ワットシェントーン



ルアンパバーン・毎朝の托鉢風景